

公表 事業所における自己評価結果

項目	チェック項目	はい	いい	状況	工夫している点	課題や改善すべき点
環境整備	1 利用定員が発達支援等のスペースとの関係が適切であるか。	7	3		人数によって部屋を交換等している 少人数で部屋を使つときもある	曜日によって部屋の人数が多いことがある 手洗い水道が増えることよい
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の数も適切であるか。	9	1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	6	3		少しずつ部屋を改装して改善してきている	部屋に段差があるのに注意が必要 人的介入が必要な段差箇所がある
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1			廊下やトイレが暑かたり寒かたりするののでヒーター等を使用している
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2			時々部屋が埋まっていて使えないことがある
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	9	1		会議でその都度行事の反省を行っている	会議や研修の日程によっては振り返りの時間が足りないことがある
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0			職員の面々が良くなり
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	3		3月に第3者評価を実施予定	第3者から意見をもたう機会がまだ無い
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		公開保育で定期的に外部の人の目が入っている	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		月ごとの遊びの内部の配布、行事や企画を通してプログラムの説明を行った	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		グループミーティング、日々の振り返り、事例検討を行い、相談支援とも連携をしている	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	4		共有ドライブの活用でスムーズにできた 全員が見られるような状況になっている	職員全員がすべての計画に目を通すためには時間的に工夫が必要
	15 こどもの対応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0			
関係構築	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0		クラスを2クラス固定にし共通に取り組んだ	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1			職員が2クラス固定になり良い面もあるが、内容に偏りが出ていることもある
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チーム連携して支援を行っているか。	8	2		朝の打合せのノートを活用して、大切なことは確認できている	延長保育利用が多くなり、全員での打合せが難しいときがあった
関係構築	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	3			当日の職員態勢で振り返りの時間の確保が難しい時もあった
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1			記録の入れが当日に難しい日があり、翌日以降になることがあった
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直し・必要を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況よく理解した者が参加しているか。	10	0		チームの代表者が参加している	
	25 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		歯科医とは今年度からつながりができた	医療に関しては日常的なつながりがなかなか保つことができていない
関係構築	26 併用利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2			支援学校の子は行っているが、学区小の子は教育委員会と実施、支援学校の子の共有もできるとよい
	28 (28〜30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	9	0			
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9	0			
	30 (自立支援)協議会こども部や地域の子ども、子育て会議等へ積極的に参加しているか。	9	0			管理者や担当者が代表してが参加しているが、内容をよく出し(詳しく)知りたいたい
関係構築	31 (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	4	5			交流がない子の方が多い 併用利用児以外の子の交流は難しい
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9	0			
	33 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0		親子行事や面談の中で機会を設けた	
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0			
関係構築	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0			
	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0			
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	4			兄弟同士の交流はないので行事として検討したい 保護者は行事で交流を図ることができた。 保護者会は特に相識していない
	40 こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0			
関係構築	41 定期的に連絡等を行うこと、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0		園だより、インスタグラム、ホームページを通して個人情報に留意し可能な範囲で発信している	
	42 個人情報取扱いに十分留意しているか。	10	0			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0			
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4		教育講演会を毎年実施し、地域向けに子育てに関する講演会を行っている	コロナ禍以降法人のお祭りではまだ実施できていない。 年度度以降できることよい
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3			マニュアルの周知は、分かりやすく提示するためどのような形がよいか検討する
非常時	46 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1			さらに現実即した訓練を実施していきたい
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を把握しているか。	10	0			
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	10	0			
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分れた中で支援が行われているか。	9	1			訓練や研修を行うだけでなく、日々全体で安全を確認し続けることが必要
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1			保護者への説明はあたりで行っているが、新年度は口頭での説明が必要
非常時	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	10	0			
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0			
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0		やむを得ないことを必要最小限にするように努力している	